

授業科目名	心理学概論	教員名	小澤 拓大	免許・資格との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授業形態	講義	担当形態	単独		保育士	選択必修
					こども音楽療育士	選択
科目番号	JIN104	配当年次	1年前期	卒業要件	小幼コース	選択必修
単位数	2単位				幼保コース	選択必修
科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等						
一般目標	「心理学」という学問の概要および「心理学」の各分野についての理解を深める。また、獲得した知識を社会や日常生活にあてはめて考えることで思考力・応用力を身につける。					
到達目標	(1) 心理学がどのような学問なのかを理解している。 (2) 心理学の各分野の内容を理解している。 (3) 授業で学んだ内容を社会や日常生活にあてはめて考えることができる。					
授業の概要	心理学が対象とする領域は広く、日常生活における様々な場面に心理学が関わっていると考えられる。本授業では、その心理学とはどのような学問なのか、どういった領域を扱うのかについて学ぶ。また、各領域を学ぶ中で得られた知識を社会や日常生活にあてはめて考えてみる。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
履修条件・注意事項	特になし					
授業計画	第1回：心理学とは何か 心理学とはどのような学問であるのか、また日常とどのような関係があるのかについて学ぶ。 第2回：心理学の研究手法・倫理的配慮 心理学の研究手法、研究をする際の倫理的配慮について学ぶ。 第3回：感情 感情の構造やメカニズム、機能について学ぶ。 第4回：記憶 記憶の内容や記憶のメカニズムについて学ぶ。 第5回：発達 発達の内容や発達のメカニズムについて学ぶ。 第6回：学習 学習のメカニズムについて学ぶ。 第7回：動機づけ 動機づけのメカニズムについて学ぶ。 第8回：他者評価・外界の認識① 他者や外界の認識について学ぶ。 第9回：他者評価・外界の認識② 他者や外界の認識について学ぶ。 第10回：自己評価① 自己評価の仕組みについて学ぶ。 第11回：自己評価② 自己評価の仕組みについて学ぶ。 第12回：援助行動 援助行動のメカニズムについて学ぶ。					

	<p>第13回：公正 公正の在り方、公正に関する心の働きについて学ぶ。</p> <p>第14回：パーソナリティ 人の個人差について考える。</p> <p>第15回：まとめ 14回目までの授業内容をまとめるとともに、授業内容が日常生活にどのように活かされるのかについて考える。</p> <p>定期試験</p>
学生に対する評価	授業外学習として提示される課題と学期末試験の結果により総合評価を行う。評価の割合は授業外学習の課題が20%、定期試験の成績が80%とする。
時間外の学習について	事前・事後学習として週4時間以上行うこと。 授業内で提示される授業外学習に取り組むこと。
テキスト	授業内で資料を配布する。
参考書・参考資料等	授業内で適宜提示する。
担当者からのメッセージ	本授業では「考えること」を大切にして欲しいと思います。
オフィスアワー	質問等は毎回の講義の後に受け付ける。